

市民公益事業支援（ステップ）部門採択事業報告



|             |                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名         | ささえあう地域ジョブ                                                                                                                                                                                                      |
| 実施団体名       | 特定非営利活動法人在宅福祉の会じゃがいも                                                                                                                                                                                            |
| 事業の目的       | 心や体に悩みを抱えている人とその家族の方への「駆け込み寺」的な場所づくりと地域の「絆」づくりを目的とする。                                                                                                                                                           |
| 補助金額        | 253,000 円                                                                                                                                                                                                       |
| 事業の概略       | 心や体に悩みを抱えている人とその家族を対象として<br>①誰でも来やすい「ふれあいサロン」を開設←人々の交流や情報交換ができる場所作り・居場所づくりのため（活動時期 6 月～1 月）<br>②日常生活練習・宿泊体験の場所を提供←対象者の自立性の向上・社会参加のため（活動時期 6 月～2 月）<br>③講演会・イベント開催←市民の対象者理解、不安の解消「見守る力」の強化のため（活動時期 6 月、11 月、2 月） |
| 事業の成果       | ①市民と対象者、お互いが「知る」から「理解」へステップアップ<br>②対象者本人のスキルアップと本人自身の自信獲得アップ<br>③家族交流による悩み事の解決糸口発見                                                                                                                              |
| 実施での問題点     | ①協力会員数字の横ばい←広報不足（②も含む）<br>→実行スタッフ不十分→利用会員数横ばい原因となる<br>②大学生の事業参加不足←ふれあいサロン、講演会で幅広い世代の参加がある中での現状                                                                                                                  |
| 課題・今後の展望    | 幅広い世代（10 代から 70 代）の方から活動支援頂くために、<br>①講演会のテーマに学生が興味を示し世代共通テーマを選択→我々の活動広報<br>②地元大学の学生団体と連携→利用会員の増員<br>③学生主体によるプログラム企画・運用→日常生活練習の活性化                                                                               |
| 審査員評価       | サロン、合宿の充実等手応えがあったことはよいと思います。<br>協働のしくみが活かされている事業だと思います。                                                                                                                                                         |
| アドバイス・期待する点 | 学生ボランティアセンター（学生募集、受入のノウハウ、相談）の活用や学生アイデアコンペを行うなど検討してはどうでしょうか。ふれあいサロンで大学生に参加を参加を期待しているが学生に何をしてもらうかもっと明確にする必要がある。学生団体や地域団体との更なる連携を期待します。学生には連携というより、理解してもらうための取組も必要ではないか。                                          |